



川西中学校だより

【校訓】 自主・明朗・節度 令和8年2月19日 第11号 文責:校長

令和7年度末 スクールプラン 学校評価結果



学校教育目標『自分の強みを発見し、未来に自信がもてる生徒を育てる』そして、『めざす生徒像』の実現に向けて、全教職員が協働して取り組みました。今年度の成果と課題を真摯に受け止め、次年度更なる実践を進めていきたいと思います。

＜めざす生徒像＞
○確かな学力を持ち、それを活用しようとする生徒
○互いに違いを認め合い、自信を持って活動できる生徒
○郷土に誇りと責任を持ち、夢や希望を語る生徒

スクールプラン重点目標

<わかる授業づくり>

- 生徒の見取りを軸に主体的・対話的で深い学びの視点からの授業実践
- 積極的な授業公開と個に応じた学力向上対策の充実

<居場所づくり・絆づくり>

- 互いに認め合える学級づくりと不登校の未然防止、関係機関との連携
- 自分の生き方について考える教育活動の充実(異学年、外部人材との交流活動の充実)

<心づくり・体づくり>

- いじめや差別を許さない人権教育の充実
- 学年集会の充実
- 健康教育、運動習慣づけの推進

<家庭・地域や中学校区との連携>

- 安全指導、避難訓練を通じた危険回避と対応能力の育成
- 地域の教育資源や学習環境の積極的活用
- 生徒の学びをHPや各種たよりで情報公開

スクールプラン重点目標に対するアンケート結果(全学年合計2月)

よくあてはまる+ややあてはまるの回答(%)

評価アンケート項目	R7目標	R7.7月	R7末
授業がよくわかる。	85	91	83
授業中、自分の考えを積極的に表現している。	70	68	72
自ら学び、考え、自分の言葉で伝え合う授業に取り組む教職員(教職員アンケート)	95	100	100
学校が楽しい。	90	94	87
自分は、将来の夢やめざす目標をもっている。	75	75	75
自分は、郷土福井を大切にしたいという気持ちをもっている。	90	94	85
自分には、何でも相談できる友達や教職員がいる。	90	87	89
友達は、あなたのよいところをわかってくれている。	90	92	93
学校は生徒一人一人を大切に、温かく指導している。(年度末保護者アンケート)	85		81
自分は、学級や部活動のことなど、学校生活について家の人によく話している。	85	86	83
学校は安全面を適切に指導している。(年度末保護者アンケート)	90		76
学校は教育内容を適切に伝えている。(年度末保護者アンケート)	90		82

具体的取組による成果と課題

わかる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的対話的な授業づくりに取り組んだことで、自分の考えを表現していると感じる生徒72%と、近年の中では初めて目標値を達成することができた。各教科の授業でペアやグループ学習を多用し、タブレット端末を活用した意見交流や発表の機会を積極的に取り入れた成果だと考える。また、個別の支援の機会を増やし、生徒の困り感を減らしていく。 ・学年課題で自主学習を多く取り入れることで、自分に合った学習を考える力を身につかせようとした。家庭学習の習慣が身につけてきたようにみえるが、取組の質には課題がある。各自が苦手な単元を選択して取り組めるAiドリルの活用や見通しを持った学習を意識させる学習計画表の見直しを検討し学力向上に努める。
居場所づくり・絆づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の強みについて考える機会を学級活動で実施するなど、年間を通してポジティブ思考の教育を推進した。 ・生徒総会や人権集会、学校祭での部門別活動など全校生徒での縦割り活動の機会を増やしたことにより、学校行事だけでなく日常生活の中での仲間意識と愛校心の醸成につながった。また、生徒会活動推進校を代表生徒と共に視察したことにより、委員会活動活性化の具体的なイメージを生徒と教員がもてるようになり、2学期の生徒会活動で新たな取組が増えた。

<p>心づくり・体づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「郷土福井を大切にしたい」(85%)と目標値は達成できなかったが、校外活動、職場体験を経験した2年生は、肯定的回答が93%と高かった。地域を身近に感じ続けられるよう3年間の継続した取組としての探究活動やキャリア教育をデザインしていきたい。 ・毎月のいじめアンケート、担任やスクールカウンセラーとの面談の機会を充実させ、生徒の悩みの早期発見に努めた。 ・次年度から生徒会活動の更なる活発化を目指し、委員会活動の時間を増やしていく。 ・「将来の夢や目標がある」(75%)「友だちはよいところをわかってくれる」(93%)と、ポジティブ教育の成果が表れている。また、「何でも相談できる友だちや教職員がいる」(89%)とほぼ目標値に近い値となっており、安心して学校生活を送っていることがうかがえる。「学校は一人一人を大切に温かく指導している」(81%)と、目標値には届かなかったものの保護者アンケートからも肯定的な回答を得た。今後も校務分掌に応じた教育相談の取組に力を入れていく。
<p>中学校区・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は安全面について適切に指導している」(76%)と保護者からの評価が低かった。生徒の安全面については、交通安全や不審者対策だけでなく、現代社会においては、SNSトラブルに関する被害防止の指導も重要になってくる。学校での取組については、これまで以上に情報伝達の機会を増やし内容を吟味していく。 ・今年度に引き続き地域の教育資源(ひとものこと)を活用することで、地域への愛着と自分の将来像を意識することにつなげていきたい。 ・次年度から「新聞を活用した教育実践校」としての取組が始まるので、実生活と関連付けた学びを充実させていく。

2/2(月) 新入生学校説明会

来年度入学予定の6年生と保護者対象の「新入生学校説明会」を実施しました。体験授業(国語・英語)は、保護者の方々も参観していただきました。3年生の有志が小学生のサポートを担当し、全体会での学校生活の説明は、情報科学部作成の映像も活用しながら生徒会執行部が行いました。

4月からの本校への入学を楽しみにしていただけましたら嬉しいです。



1/30(金) 1年:足羽川ぼんぼり物語にむけて

毎年春に行われる「足羽川ぼんぼり物語」に向けたぼんぼりの作成に取り組みました。福井市の実行委員の方から指導を受け、チームで協力しながら作成しました。ぼんぼりは、3月下旬から4月上旬にかけて足羽川の桜並木に飾られます。作成・提供を通じて、福井の魅力発信に貢献することができそうです。



2/13(金) 第2回家庭・地域・学校協議会

今年度の本校の取組について振り返る協議会を開き、スクールプランに基づく、学校評価の結果についてご報告しました。委員の方からは、「部活動が地域移行となるので、学校の中での縦割り活動の重要性を感じる。縦割り活動の機会を増やして欲しい。」「地域との関わりを大切にしたい。」「ボランティア活動への積極的な参加を期待する。」などのご意見をいただき、学校としての今後の取組についてご説明しました。



『令和7年度 インターネット安全・安心通信』を紹介します
インターネットを安全に活用するための注意点を紹介している通信が、県防災安全部県民安全課から、定期的に配信されます。児童生徒用、家庭用とあります。ご利用ください。



★学校生活の様子を
随時、お伝えして
います。

